

## 令和4年度 青森支部保険者機能強化予算の執行状況について

---

# 令和4年度 青森支部医療費適正化等予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
医療費 適正化 対策経費	企画部門 関係	お薬手帳カバーを活用したジェネリック医薬品の使用促進	3,498	2,523	975	【実施状況】 ・お薬手帳カバーを作成し、県内の全保険調剤薬局（614件）へ配付。（3月） 【残差理由】 ・一般競争入札により当初予算より安価に調達できたため。
		関係団体と連携したジェネリック医薬品使用促進セミナー	220	154	66	【実施状況】 ・青森県薬剤師会との共催により、健康保険委員を対象としたWebセミナーを開催。参加申込者は82名。事前収録した講演をセミナー期間12日間と、セミナー開催後に一般公開期間を28日間設け配信。（2・3月） 【残差理由】 ・集合方式ではなく、Web方式で開催したことにより、会場費等がかからなかったため。
		地元大学と連携した医療費等の分析	199	14	185	【実施状況】 ・青森県立保健大学大学院の大西教授と、青森支部の健康・医療情報分析アドバイザー業務契約を継続し、支部の医療費分析等について、専門的なアドバイスをいただいた。（6月） 【残差理由】 ・支部における医療費分析が進まず、アドバイスをいただく案件が少なかったことと、新型コロナウイルス感染症の影響により、日程調整ができなかったため。
		有識者の助言に基づく加入者等の行動変容を促す広報物等の作成	50	0	50	【実施状況】 ・青森県立保健大学の竹林博士に、支部広報物3点について、ナッジ理論を活用した効果的な内容となっているか評価をいただいた。（2月） 【残差理由】 ・青森市で開催されたイベントにおける基調講演後に時間を割いていただいたの面会及び1時間程度での対応だったことより、竹林博士より謝金は求めない旨の申し出があり、経費をかけずに実施できたため。
	業務部門 関係	柔整療養費の適正受診に係る啓発	787	209	578	【実施状況】 ・長期頻回及び若年層を対象にマンガ解説の啓発用リーフレットを95件送付。アンケート結果では、リーフレットについて「とても参考になった」、「参考になった」との回答が多かった。（3月） 【残差理由】 ・封入封かん等の作業を委託ではなく自前で行ったため。また、リーフレットの購入が予定より安価で調達できたため。
	合計	4,754	2,900	1,854		

# 令和4年度 青森支部医療費適正化等予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
広報、意見 発信経費	紙媒体による 広報	納入告知書同封チラシによる 広報	2,559	835	1,724	【実施状況】 ・ 2月の本部提供による保険料率の広報を除き、健康保険の手続きや健康づくり等に関するチラシを毎月作成し、納入告知書に同封。 【残差理由】 ・ 一般競争入札により当初予算より安価に調達できたため。
		地方自治体や関係団体と連携した健康宣言事業等に係る広報	475	310	165	【実施状況】 ・ 健康宣言案内パンフレットについて、一部補足説明を入れて増刷し、健康宣言の勧奨業務に活用。 【残差理由】 ・ 見積競争により当初予算より安価に調達できたため。
	その他の 広報	Web広告や情報誌等を活用した医療費分析結果等の周知	3,201	3,201	0	【実施状況】 ・ YahooやGoogleのディスプレイ広告およびFacebook、InstagramなどのSNS広告を実施。広告には青森県の生活習慣についてのあるあるを4コマ漫画にした「あおり健聞録」を掲載し、ランディングページへ誘導。ランディングページでは地域ごとに抱える生活習慣病リスクの特徴、改善策を掲載し、加入者への生活習慣改善や医療機関への受診等を啓発。(12月～3月)
		新聞広告を活用した協会の事業内容等の周知	966	220	746	【実施状況】 ・ 東奥日報が新年度に特集する“各経済団体トップの「新年度の抱負」”に支部長の記事（健康宣言事業、インセンティブ制度）を掲載。(3月) ・ インセンティブ制度に関する広告を掲載。(12月～2月) 【残差理由】 ・ 回数及び実施時期を計画時から見直した結果、概算の見積時よりも安価に調達できたため。
	合計		7,201	4,566	2,635	
医療費適正化等予算 合計			11,955	7,466	4,489	

# 令和4年度 青森支部保健事業予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
健診経費	事業者健診結果データの取得	事業者健診結果のデータ取得に係る業務(外部委託)	6,220	3,239	2,981	【実施状況】 ・ 外部委託により、勸奨文書の送付(1,218件)及び電話勸奨を実施し、同意書取得145件(前年度比+32件)、健診結果データの作成3,780件(前年度比+2,283件)。 【残差理由】 ・ 外部委託について、入札により当初予算より安価な単価で契約できたため。
		事業者健診結果のデータ取得に係る業務	753	216	537	【実施状況】 ・ 前年度の健診受診率が低い2,000事業所に対し、労働局と連名で事業者健診結果のデータ提供依頼文書及びリーフレットを送付し、反応がない事業所の一部に対して外部委託で再度勸奨を実施。(同意書取得:70事業所、健診結果(紙)取得事業所:21事業所) 【残差理由】 ・ 勸奨については見積競争により当初予算より安価に調達できたため。 ・ 事業主がデータを作成した際に支払う手数料を予算計上しているが、執行が1割程度だったため。
	集団健診	ショッピングセンターにおける「まちかど健診」(特定健診)の実施	3,399	2,672	727	【実施状況】 ・ 県内のショッピングセンター等で協会けんぽ主催の集団健診(被扶養者の特定健診)及び健診当日の特定保健指導を実施。(案内発送41,679件(前年度比▲1,714件)、受診者数2,664名(31回)) 【残差理由】 ・ 企画競争で提案された会場費が安価であったこと、健診案内の作成・発送について入札により当初予算より安価に調達できたため。
		集合バス健診の実施	528	671	▲143	【実施状況】 ・ 健診機関の少ない地域を中心として検診車による集合バス健診と健診当日の保健指導を実施。(前年度より2か所多い5か所で実施)(案内発送:8,189事業所、被扶養者17,576名、受診者数:被保険者182名(前年度比+72名)、被扶養者129名(前年度比+58名))
	健診推進経費	生活習慣病予防健診・事業者健診データ取得・特定健診における健診推進経費	3,168	1,740	1,428	【実施状況】 ・ 生活習慣病予防健診は通年の施策で3/6機関、閑散期の施策で5/6機関、事業者健診データの早期取得は3/4機関で目標を達成。特定健診(集団健診)についてはいずれの機関も目標を達成しなかった。 【残差理由】 ・ 10月の被扶養者数の減少が影響し、集団健診の受診者数が前年を下回り、特定健診の推進経費の執行がなかったため。(前年度607,145円)
	健診受診勸奨等経費	次年度特定健診デビュー年齢対象者への受診勸奨業務	156	109	47	【実施状況】 ・ 次年度特定健診デビュー年齢対象者への受診勸奨を909件実施。 【残差理由】 ・ 見積競争により当初予算より安価に調達できたため。
		令和5年度健診案内に同封するパンフレットの作成	3,129	806	2,323	【実施状況】 ・ 令和5年度健診案内に同封する支部別リーフレット、送付書等を作成。 【残差理由】 ・ 予算作成時は、本部作成の健診リーフレットを使用せずに支部独自のパンフレットを作成する予定だったが、本部の指示により本部作成のリーフレットを使用することとなったため、それを補うリーフレットのみ作成したため。
		新規被扶養者及び特定健診未受診者への受診勸奨業務	2,882	1,521	1,361	【実施状況】 ・ 被扶養者の特定健診パンフレット(自己負担額掲載)の作成。 ・ 特定健診未受診者に対して、GIS(地理情報システム)を活用して近隣の健診機関(5機関)を案内する受診勸奨通知(A4サイズの圧着はがき)8,683件を発送。 【残差理由】 ・ 入札により当初予算より大幅に安価に調達できたため。
		健康宣言事業所の事業主と連携した被扶養者に対する受診勸奨業務	132	22	110	【実施状況】 ・ 健康宣言事業所のうち、被扶養者の受診率が低い事業所を対象に、事業主と協会けんぽ連名の受診勸奨リーフレットを作成。(101事業所に協力依頼し、26事業所が受入) 【残差理由】 ・ 見積競争により、当初予算より大幅に安価に調達できたため。
	合計		20,367	10,996	9,371	

# 令和4年度 青森支部保健事業予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
保健指導 経費	保健指導に係る 事務経費	保健指導に係る事務経費	403	90	313	【実施状況】 ・ 保健指導用パンフレット費用については、保健指導申込書（Webの保健指導の案内を含む）を作成。 ・ 保健指導データ送料等、事務用品費については必要に応じて執行。 【残差理由】 ・ 図書購入費等一部経費の執行がなかったこと、及び保健指導データ送料等の執行が見込みより少なかったため。
	保健指導委託	血液検査による特定保健指導の効果測定	2,640	2,092	548	【実施状況】 ・ 5機関において、特定保健指導における中間評価時の血液検査634件を実施。 【残差理由】 ・ 特定保健指導において必要に応じて実施する血液検査の実施件数が見込みより少なかったため。
	保健指導 推進経費	保健指導推進経費	723	510	213	【実施状況】 ・ 2/9機関において目標（前年度実績を超過）を達成。 【残差理由】 ・ 残りの健診機関が目標に届かなかったため。
	保健指導利用 勧奨経費	特定保健指導勧奨のためのチラシ等の 作製	288	69	219	【実施状況】 ・ 特定保健指導の利用促進を目的として、好事例を記載したチラシ（階層化のお知らせの裏面として活用）を作成。 ・ 特定保健指導の継続を目的として、取り組み状況の記録票を作成。 【残差理由】 ・ 好事例を記載した階層化通知は予算積算時の見込みより少ない数量を調達したため（支部発送案内からアウトソースによる発送に切り替え）。 ・ Webによる特定保健指導案内チラシは、指導の実施と合わせて利用勧奨も委託したことで、委託業者が作成したチラシを活用し、調達しなかったため。
	合 計			4,054	2,761	1,293
重症化 事業経費	未治療者 受診勧奨	未治療者の受診勧奨業務 (文書及び電話)	6,490	4,429	2,061	【実施状況】 ・ 本部における一次勧奨の概ね1か月後に未受診者を抽出し、受診勧奨文書を事業所へ発送するとともに、二次勧奨対象者に電話で勧奨を実施。（文書4,794件、電話697件） 【残差理由】 ・ 企画競争による調達だが、安価な単価で契約できたため。
	重症化予防 対策	糖尿病性腎症重症化予防業務	53	41	12	【実施状況】 ・ 重症化予防につながるパンフレットを購入。 【残差理由】 ・ 安価なパンフレットを購入したため。
	合 計			6,543	4,470	2,073

# 令和4年度 青森支部保健事業予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
コラボヘルス 事業経費・ その他の 経費	コラボヘルス 事業	データヘルス計画の実施 (コラボヘルス事業)	3,338	2,301	1,037	【実施状況】 ・健康宣言未登録事業所へ電話勧奨を実施。(9月) ・健康宣言事業所へのフォローアップとして、健康情報誌の送付を中心に4半期ごとに情報提供を実施。 ・健康宣言事業所へ取組み状況確認のアンケートを実施。(8月) 【残差理由】 ・一般競争入札及び見積競争により当初予算より安価に調達できたため。
	その他の 保健事業	8020 自分の歯を大切に! (歯科健診事業)	3,540	3,091	449	【実施状況】 ・青森県歯科医師会と歯科健診委託業務にかかる契約を締結。(4月) ・健康宣言事業所への郵送による案内のほか、ホームページ、メルマガ等で広報を実施。年間で764名が受診。 【残差理由】 ・印刷物の作製及び封入封緘業務について見積競争により安価に調達できたため。
		メタボリックシンドロームの予防・解消のための生活習慣改善提案兼高血圧・糖尿病に係る受診勧奨通知	10,959	8,798	2,161	【実施状況】 ・令和3年度の健診結果を活用したオーダーメイド型の生活習慣病改善提案のお知らせを16,697名に送付。(2月) 【残差理由】 ・企画競争の結果、当初予算より安価に調達できたため。
	合 計		17,837	14,190	3,647	
保健事業予算 合計			48,801	32,417	16,384	